

【理科】「個々の問題の出題の意図及びその正答率」

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			県の正答率	学校の正答率
	大問	小問	通番		科学的思考	技能・表現	知識・理解		
物理領域	1	1	1	圧力を正しく計算することができる。			○	57.1	
		2	2	単位面積当たりに働く力の大きさと、スポンジのへこみ方を関係付けて考察することができる。			○	74.9	
		3	3	身のまわりの圧力にかかわる現象の中で、接触面積を非常に小さくすることで、圧力を大きくしている工夫を見いだすことができる。			○	34.4	
		4	4	水圧があらゆる向きに働き、深いところほど水圧が大きくなっていると考えることができる。			○	63.1	
	2	1	5	測定値を正確にグラフ用紙上に記録し、比例のグラフを書くことができる。			○	36.2	
		2	6	測定値からばねにはたらく力の大きさと、ばねののびの関係を読み取ることができる。			○	55.6	
		3	7	フックの法則の意味を理解している。			○	44.7	
		4	8	測定していない点についても、グラフをもとにその値を推測することができる。			○	49.4	
生物領域	3	1	9	操作の意味をふまえて、光合成には光が必要かどうかを調べる実験方法を身に付けている。			○	90.9	
		2	10	ヨウ素液の反応から、デンプンができていることを理解している。			○	75.8	
		3	11	光合成を行う場所は葉緑体であることを理解している。			○	71.5	
	4	1	12	顕微鏡を使った観察において、観察対象物を視野の中央に移動するための操作方法を身に付けている。			○	54.0	
		2	13	維管束の意味を理解している。			○	75.7	
		3	14	双子葉類の葉の形態と根の生え方を理解している。			○	67.4	
		4	15	単子葉類の子葉の数と茎の維管束の様子を理解している。			○	79.1	
	化学領域	5	1	16	モデルの表現内容と関連付けて、水溶液中の溶質の様子について考えることができる。			○	72.2
2			17	数日後の水溶液中の溶質の様子について、均一性と粒子の保存性からモデルを使って正しく表現することができる。			○	51.1	
3			18	水溶液の質量パーセント濃度を計算することができる。			○	46.8	
6		1	19	気体が二酸化炭素であることを確かめる方法を複数理解している。			○	36.0	
		2	20	二酸化炭素の発生方法を複数理解している。			○	30.4	
7		1	21	安全な実験操作について、その意味まで理解している。			○	70.0	
		2	22	青い炎をあげてよく燃えた事実から、エタノールを多く含んでいると考えることができる。			○	46.8	
	3	23	蒸留の意味を理解している。			○	54.3		
地学領域	8	1	24	野外観察の記録資料を基に、堆積環境を推定することができる。			○	56.6	
		2	25	恐竜が生息していた年代の示準化石がアンモナイトであることを理解している。			○	62.7	
		3	26	野外観察の記録資料を基に、地層とその中の化石を手掛かりとして地質年代を推定することができる。			○	68.4	
	9	1	27	震度の意味を理解している。			○	85.9	
		2	28	地震計の記録から、初期微動継続時間を読み取ることができる。			○	81.8	
		3	29	初期微動継続時間の長さと、震源からの距離を関係付けて考えることができる。			○	62.4	